

「主な活動（概要）」（中学校）

【学校名】美深町立美深中学校
【活動の名称】 ネットモラル講習会
【活用した資源】IT 関連会社職員（株式会社 DeNA）
【対象学年と活動の時期】全学年 7月末

（項目エー観点③環境づくり）

【活動の概要】

- ・ ネット関連の専門家を講師として招き、スマホやインターネットの注意点や危険性を学ぶ。

【ねらい】

- ・ インターネット環境の利用におけるトラブル事例とその回避策について学ぶことで、自らの情報機器の使い方を振り返らせる。
- ・ ネット上での友人とのコミュニケーションの取り方を改善しようとする態度を養う。

【活動の流れ】〈教師の配慮〉

- ①管理職が窓口となり、IT関連の講師を紹介してもらう。
※本事例では名寄市消費生活センターに問い合わせた。
- ②講師を招いて、ネットモラル講習会を実施する。



〈講習会の様子〉



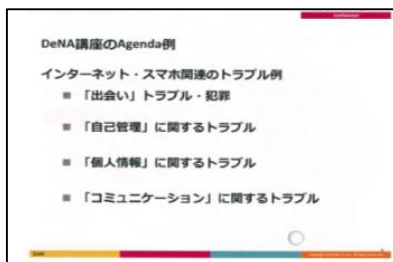
ネットモラル講習会

場所：体育館 70 分間

- 1 生徒入場、着席
- 2 講師紹介
- 3 講話
- 4 質疑・応答
お礼の言葉
- 5 講師退席、生徒退場

〈当日のプログラム〉

- ③講習会終了後の学級活動で振り返るとともに、感想等を学級通信などで紹介する。
- ④「なくせ！いじめ！ネットトラブルメッセージコンクール」（別プログラム）に取り組みさせる。



〈生徒配付資料〉

【生徒の作品】

- 書き込みは 感情までは 伝わらない (1年生男子)
 いじめると 自分の心に 雲ひとつ (2年生男子)
 涙の跡 悲しい気持ちの 表れだ (3年生男子)
 気をつけて 画面の奥に 潜む闇 (3年生女子)

〈「なくせ！いじめ！ネットトラブルメッセージコンクール」作品〉

【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】

- ・ 様々な教育活動において、自分の考えをしっかりと考えて書く生徒が増えた。
- ・ ネット上での友人とのコミュニケーションの取り方について、給食時間等で話題に上がる機会が増えた。

- ネット社会との正しい付き合い方を学ぶことにより、学校内外での対人トラブルを未然に防ぐとともに、生徒が当事者ではない立場になったとき、トラブルを止めようとする姿勢を育むことにつながっています。
- ネットに関わる社会問題を参観授業や全体懇談で取り上げ、生徒を取り巻く実態を周知することにより、家庭の理解や協力を得ることもつながっています。



「主な活動（概要）」（中学校）

【学校名】小平町立小平中学校
【活動の名称】 生徒会企画 ～体育大会に向けて～
【活用した資源】生徒会本部役員及び体育大会実行委員会
【対象学年と活動の時期】全学年 5月下旬

（項目イー観点②絆づくり）

【活動の概要】
・生徒会が中心となって、体育大会の縦割り団や学級が協力・団結できるよう、企画し交流する。

【ねらい】
・縦割り団内の仲間を知る機会とするとともに、よさを認め合い、本番に向けて互いに協力して取り組む態度を育む。
・学級で、体育大会に向けて団結しようとする気運を高める機会とする。

【活動の流れ】
①生徒会及び体育大会実行委員会が中心となって集会の内容を考え、準備を進める。
②縦割り団や学級で、本集会におけるゲームの出場順などを考える。
③本集会を実施する。



〈各団による、意気込み発表〉



〈実行委員会よりテーマの発表〉

【当日のプログラム】

- 1 実行委員から意気込み発表
- 2 各学級から意気込み発表
- 3 各団から意気込み発表
- 4 前哨戦
 - ①バドミントンリレー
 - ②人間知恵の輪



〈「バドミントンリレー」中〉

2つの中学校が統合して初めての大きな行事、体育大会です。互いの関わりが深まるよう、出身中学校や学年が偏らないよう配慮してゲームを考えました。



「人間知恵の輪」も2つの中学校の生徒が関わられるように配慮しました。



〈肩を組んで気合い入れをする紅組〉



〈ハイタッチで選手を迎える白組〉

生徒会企画で前哨戦を乗り越えたことにより、団結力が高まりました。

【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】
・互いを知る（特に体育大会に向けての出走順などを決めるのに役立つ）機会となり、その特性を生かした作戦や取組の実施へとつなげることができた。
・運動が得意な生徒も参加しやすい雰囲気づくりをしたことにより、その後の様々な教育活動にも全校生徒が協力して参加するようになった。

- 団結を目的にゲーム的な要素を取り入れることにより、生徒同士が安心して企画に取り組むことができています。
- 異学年が縦割り班で取り組むことにより、話し相手や話題が変わり、普段は気が付くことのできない、互いのよさを知ることにつながっています。



「主な活動（概要）」（中学校）

【学校名】小平町立小平中学校		
【活動の名称】 国際交流会		
【活用した資源】 教師、社会教育（教育委員会、地元企業）、生徒会活動		
【対象学年と活動の時期】全学年 7月中旬	(項目ウー観点①居場所づくり)	
【活動の概要】 ・地域の企業に研修のため来町している外国人と交流する。		
【ねらい】 ・外国人との交流を通して、異文化を理解し、受け入れる姿勢を養う。		
【活動の流れ】 ①地元企業や教育委員会社会教育課と連携し、教務を中心に内容を企画する。 ②生徒会が中心となって交流の企画を考える。 ③本集会を実施する。		
		<p>【当日のプログラム】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介（自国紹介） ・質問コーナー 2 交流給食 3 交流レクリエーション
〈自己紹介するロシアの研修生〉	〈一緒にゲームをして遊ぶ様子〉	
		<p>通訳として来校した広島県の学生との食事をしました。 同じ日本人でも住むところが違うと、方言や生活様式も違うんですね。</p>
給食を一緒に。言葉は通じなくても…。		
	<p>【生徒の感想から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを図るということは、とても大事なことだと改めて思いました。 ・この行事をきっかけに、色々な国に行って外国の文化に触れ、新しいことをいっぱい知りたいと思いました。 ・言葉は違うけれども、遊びのルールが一緒というところでつながりが増えて、とてもよい行事だと思います。 ・交流を通して、友だちの新しい一面を発見することができ、とてもよかったです。 	
メキシコ、ロシア、韓国、中国… 世界中から小平町へ		
<p>【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流を通して異文化を受け入れる心を養うことで、生徒同士が互いに思いやりの心をもつようになった。 		

- 様々な国の方々と交流することにより、思いやりや寛容の心を育み、諸外国の人々を受け入れる姿勢が、生徒にとって「他者理解」につながっています。
- 交流活動を行うことにより、自分の考えを相手に伝えるコミュニケーションの大切さについて一層理解を深めることができます。



「主な活動（概要）」（中学校）

<p>【学校名】 枝幸町立枝幸中学校</p> <p>【活動の名称】 いじめ標語&ポスター作成（1・2年）</p> <p>【活用した資源】 生徒会活動</p> <p>【対象学年と活動の時期】 1・2学年 11月～12月</p> <p>【活動の概要】 ・いじめ根絶に向けた標語づくりやポスターづくりを行う。</p> <p>【ねらい】 ・いじめ根絶に向けた問題を解決する方法について生徒が主体的に考え、それを伝えるデザインを工夫する。</p> <p>【活動の流れ】 ①外部講師による講演を聞き、いじめについて考える。</p> <p>②いじめ根絶に向けた標語づくりを行う。</p> <p>③いじめ根絶に向けて、標語の内容を伝えるデザインを考える。</p> <p>④丁寧な作品づくりを心掛ける。</p> <p>⑤作品を校内や地域に掲示して啓蒙活動に活用する。</p> <p>（情報モラル部門）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一日中 カチャカチャカチャカチャ 依存症 ●考えよう 傷つけていないかい？ その言葉 <p>（生徒の考えた標語 いじめ部門）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●何気ない一言 世界のどこかで 悲しませる ●書き込むの 嬉しい言葉に 変えてみよう ●勘違い 文面だけじゃ 伝わらない <p>【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】 ・標語やポスターを通して、いじめ根絶に向けたメッセージを伝えることができた。 ・道徳の時間や講演会をとおして、自分ができることを考えたり、より多くの場面で、思いやりの心をもって友達と接したりすることができた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">（項目イ—観点②絆づくり）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>〈警察の方を招いての講演会〉</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>よーし、みんなが分かる標語にしよう。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>標語ができたので、次はデザインを考えよう！</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>先輩にも、読んでもらおう。</p> <p>標語が完成したので、廊下へ掲示しました。休み時間には、多くの生徒が読んでいました。</p> <p>2年生は、ポスターを作成します。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>（生徒の考えた標語 いじめ部門）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●何気ない一言 世界のどこかで 悲しませる ●書き込むの 嬉しい言葉に 変えてみよう ●勘違い 文面だけじゃ 伝わらない </div>												

- 意図的、計画的に、それぞれの活動を年間の取組計画に位置付けることにより、教師の共通理解を深めることができています。
- 各教科等で身に付けた力を活用するにより、生徒が意欲的に取り組むことにつながっています。



「主な活動（概要）」（中学校）

【学校名】 枝幸町立枝幸中学校			
【活動の名称】 食育指導			
【活用した資源】 枝幸漁業協同組合			
【対象学年と活動の時期】 2・3年生 7月・9月			

(項目ウー観点③環境づくり)

【活動の概要】

- ・地産地消に関する調理実習や食育指導を行う。

【ねらい】

- ・地産地消に根ざした活動を通して、地域のよさに気づき、協力してくれる地域の人たちに対して、尊敬や思いやりの心をもたせる。
- ・地域の人々との交流を通して、コミュニケーション能力を育む。

【活動の流れ】

- ① 家庭科の調理実習と地産地消を関連付けて指導する。
- ② 栄養教諭と漁業組合が連携し、取り組めるようにする。
- ③ 2年生は、「鮭トバづくり」、3年生は「ホタテ料理」に取り組む。



鮭は、こうやって、さばくんだよ。

さすが、地域の達人だな！

だんだん、上手になってきたね。



- ④ 地元の産物を使った調理を通して、地元のよさを実感する。



鮭トバを自分たちで加工しました。

自分たちで剥いたホタテを調理しました。



- ⑤ 漁業組合に礼状などを送付し、次年度以降も協力してもらえようをお願いをする。

(生徒のお礼状から)

- ・普段何気なく食べていたけど、講師の方や仲間とつくった料理がとても美味しかったです。
- ・こんな素晴らしいものがとれる枝幸町はいい町だと気付くことができました。
- ・講師の先生ありがとうございました。来年もまたよろしくお願いします。

【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】

- ・自分の住む地域について真剣に考える機会となった。
- ・講師の方とのコミュニケーションを大切にし、意欲的に参加するようになった。
- ・安全に気を付けて調理を行ったり、自分の行動に責任をもって取り組めたりするようになった。

- 日常生活において仲間同士で培ったコミュニケーション能力を生かして、地域の人々とのコミュニケーションを図ることができています。
- お互いに協力することの大切さを学んだことにより、学級で望ましい人間関係を築くことにつながっています。

